

## 伊賀に、アートブックフェアができる。

Waza Waza — Iga Art Book Fair 2026 / 出展者募集 (Open Call) 開始

2026年9月26日(土)・27日(日) / 史跡 旧崇廣堂、三重県伊賀市



「わざわざ」とは、しなくてもいいことを、あえて選ぶ行為です。

タブレットでもスマートフォンでも読める時代に、それでも本をつくる人がいる。紙を選び、印刷所へ行き、製本し、どこかへ運んでいく。効率的ではない。でも、その非効率のなかにしか宿らないものがある——手触り、におい、その本が生まれた場所の気配。そして、誰かの手に渡す、という行為の重さ。

Waza Waza は、そういう本とそこから始まる会話のために、つくられました。

2026年9月26日(土)・27日(日)、三重県伊賀市にて「Waza Waza — Iga Art Book Fair 2026」を開催します。アートブック・ZINE・印刷物を、展示し、手渡し、語り合う場——売り買いだけでなく、本が人と出会うことそのものを目的にした、Exhibition であり Fair でもある催しです。まだ見せたことのない本を、初めての場所で見せたい方。自分のコレクションを誰かに手渡したい方。そういう人たちのための場所を、伊賀に開きます。出展者は選考制です。

会場は「史跡 旧崇廣堂」。1821年(文政4年)に建てられた藩校で、文武の両道を教育の柱に据えた場所です。72畳の講堂は200年以上にわたって使われ続け、1905年からは約80年間、三重県最古

の公立図書館として地域の知を支えました。今はもう図書館ではありません。しかし今年、伊賀に2つの新しい図書館が開館した。この街と本のあいだにどんな対話が生まれうるのか——Waza Wazaは、その問いを引き受けることから始まっている。

俳聖・松尾芭蕉の生誕地であり、忍者文化の発祥地でもある伊賀は、古くから学びと記録を重んじてきた土地です。江戸時代には藩校のみならず、庶民に向けた心学講舎が各地に広まり、「伊賀心学」と呼ばれるほどの隆盛を見せました。武士から町人・農民まで、学びへの熱意が息づいていた地域です。大阪・京都・名古屋からいずれも約90分——来る気があれば、来られる距離。「わざわざ」来る価値のある場所。

---

#### 出展者募集 / OPEN CALL

本日より、国内外の出展者を募集します。アーティスト、デザイナー、出版社、印刷所、ZINEメーカー——これらに限らず、本や印刷物を持ち、誰かに見せたいと思っているすべての方からの応募を歓迎します。個人・団体・グループを問いません。ジャンル・媒体・国籍の制限はありません。

広く流通している本でなくていい。一冊しかない本、誰も知らないZINE、長年かけて集めてきたコレクション——そういうものが、初めて出会うべき人と出会える場を、ここに用意します。

応募期間：2026年4月1日(木)～5月31日(日)23:59 JST

選考：選考制(全応募を審査のうえ決定)

応募方法：[wazawaza-artbookfair.com/open-call](https://wazawaza-artbookfair.com/open-call)

---

#### 開催概要 / EVENT OVERVIEW

名称：Waza Waza — Iga Art Book Fair 2026

会期：2026年9月26日(土)・27日(日)

開場：11:00～19:00(両日)

入場：無料

会場：史跡 旧崇廣堂

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内122-1

主催：わざわざ実行委員会

共催：公益財団法人 伊賀市文化都市協会

ウェブサイト：[wazawaza-artbookfair.com](https://wazawaza-artbookfair.com)

Instagram：@wazawaza\_artbookfair

---

#### 取材・お問い合わせ / PRESS CONTACT

わざわざ実行委員会

担当：Lily Okamoto

[press@wazawaza-artbookfair.com](mailto:press@wazawaza-artbookfair.com)

Tel: 070-3352-6145

取材・掲載・画像素材のご依頼はお気軽にご連絡ください。

---

— 以上 —